

前回、「(仮称) 石畳通りの会」という名称で会合や活動などを進めていこうとなりました。

今回は、7月6日開催される七夕まつりにあわせて何か打ち出していく活動ができないかという意見交換を行いました。

日 時：2025 年 6 月 4 日（水）14 時～15 時

場 所：喫茶ほえむ

出席者：ほえむさん、GETTEN さん、
(順不同) Le Repos さん、まごころサポートさん
(協議会) 小林 (協議会アドバイザー) 馬場、羽田



◆通りの将来の絵姿の実現について

○安全な道にするための方策について情報を集めていく。

- ・石畳など美装化していくための整備メニューや制度の研究。
- ・行政にも相談して、どういった制度があり、地域としてどういうことが必要かなどを整理する。(まとまった団体をつくる必要があるかどうか、など)

○権利者等とのつながりや意向を確認するような関係性をつくっていく。

- ・通りを変えていくためには、沿道の人たちの前向きな意向などが重要。そのためにも、地主や店舗の人が共感してもらえるような取り組みなども必要では。

○この通りの取り組みが豊中駅前の各所に良い効果をもたらすきっかけにしていける。

- ・池田駅前では、駅前整備と連動して始まったソフトな取り組みがきっかけとなり、商店街を中心とした協議会設立による新たな活動が始まるなど、新しい動きが生まれている。そういう動きにつながる取り組みをこの通りからつくっていければ。

◆七夕まつりでの連動企画について

○七夕まつりにあわせて、この通りに着目してもらえる取り組みができないか。

- ・七夕まつりに協賛すると、5枚短冊をもらって店先に飾れる。
- ・一番街や銀座通りとあわせた車の通行止めをできないか。そこで、子どもが道路に絵を描くなどをして人に来てもらい、通りに着目してもらえたら。(車の通行止めができるかどうか、小林さんから市に相談したところ、「許可を得るのは大変難しい」とのことでした)
- ・道路に絵を描くのが難しければ、段ボールや大きな紙に書いてもらうのはどうか。
- ・大きなほうが見栄えがする。大きな紙に笹の下絵を書いておき、その上に書いてもらう。または、大きな短冊型の紙に色々書いてもらってはどうか。書いてもらうのは、七夕の願いでも通りの名前案でもいい。
- ・何か簡単な景品も用意できないか。子ども向けに飴などでもいいのでは。
- ・我楽灯さんのところに紙を貼りだせると通りの奥に見えるので、絵になるのでは。(我楽灯さんとも要調整)
- ・一度企画書にまとめて、七夕まつり前(6/25)にもう一度集まり、企画を固める。

*その後、小林さんから「イベント名が16日の週末までに決まれば、チラシの裏面のマップに載せることは出来る」との連絡がありました。